

品質保証書

型 式	パワーギガホン NZ-610-L (手ぶら拡声器4L)	韓国製	ロット番号 1209-01	
お 客 様	〒 ご 住 所 お 名 前 電話番号	お客様へお願い お手数ですがご住所、お名前、電話番号等を判りやすくご記入頂き、修理へお渡し下さい。 本書は紛失しないよう大切に保管して下さい。		
保証期間	お買上日より1年間			
お買上日	年 月 日			
販売店名	住所・店名・電話番号			

無料修理規定 (必ずお読み下さい)

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、本書と商品をお買上げの販売店へご提示のうえ修理をご依頼下さい。保証期間内において無償で修理致します。
- 保証の対象は本体及び充電アダプターとなります。マイクケーブルの断線・充電電池劣化は対象外となります。
- 保証期間内であっても次の場合は有償修理になりますのであらかじめご了承下さい。
 - 1) ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障又は損傷。
 - 2) 水濡れ、落下、移動等による故障又は破損。
 - 3) 火災、地震、落雷、風水害、天災地変、公害による故障又は損傷。
 - 4) 保証書のご提示がない場合、お買上げ日、販売店名、お客さま名等の記載がない場合、又は書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内に於いてのみ有効です。

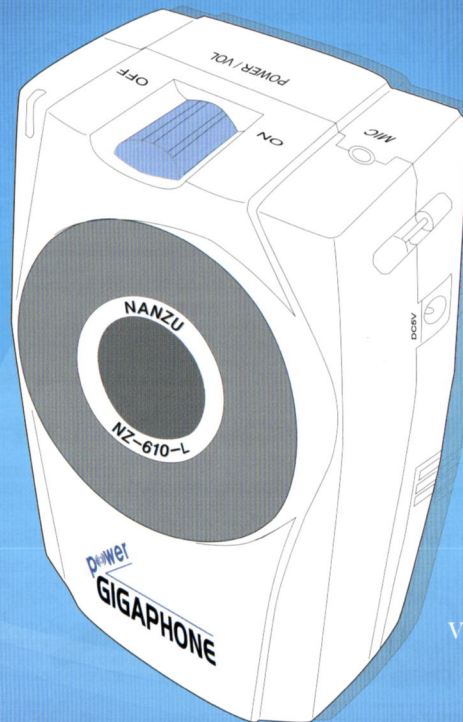
※本保証書は本書に明示した期間・条件のもとに於いて無料修理をお約束するものです。従って本保証書についてお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はお買上げの販売店、又は弊社にお問合せ下さい。

輸入販売元：有限会社 南豆無線電機 (なんず)
〒415-0035 静岡県下田市東本郷2-1-5
TEL:0558-22-2446 FAX:0558-23-4838 www.nanzu.jp
営業時間：平日9:00～17:30 定休日：土日祝祭日



取扱説明書

手ぶら拡声器4L パワーギガホン NZ-610-L

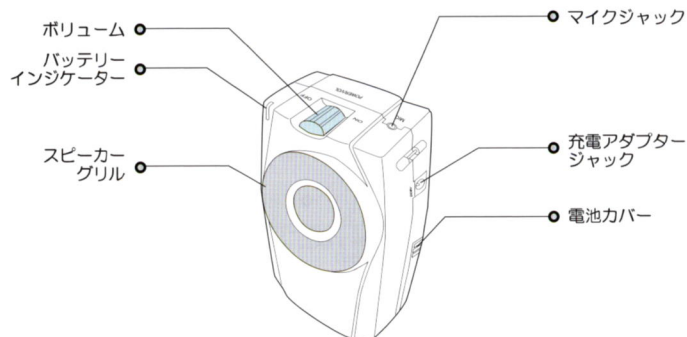


VOICE MATE

このたびは手ぶら拡声器4L(パワーギガホン)をお買い上げ頂きまして
まことにありがとうございます。

正しくお使い頂くため、ご使用前にこの説明書をお読みになり、末永く
ご愛用頂きますよう、お願い申し上げます。

使用方法



1. 電池カバーを外して電池6本を挿入します。電池の向きに注意して、極性表示通りに入れて下さい。(出荷時は充電電池を挿入済みです)
2. ストラップで首から掛ける場合、なるべくストラップを長くした方がハウリングの影響を受けにくくなります。音の拡散性が有るので、たすぎけにされるのが良いでしょう(本体とマイクの距離が近すぎるとハウリングが起こりやすくなりますので、ご注意下さい)
3. i Setマイクのプラグをマイクジャックへ差し込み、マイク部は口元から2~3cmの距離になるようにセッティングして下さい。(口元から離れたと効率の良い拡声が出来ません)
4. ボリュームスイッチを時計方向に回し電源を入れ音量調節します。使わない時はこまめに電源を切るようにして下さい。

※注意 充電アダプターを接続したまま電源を入れて使用しないで下さい。

充電に関して

初めて使う場合は必ず充電してください。放電状態にもよりますが充電時間の目安は4~5時間です。充電中は充電アダプターのLEDが赤、充電完了で緑となります。

連続使用時間は約8時間です(設定音量により異なります)。音量が下がってきたり、音質が悪化した場合は充電して下さい。

理想的な充電電の場合は約800回ほど使用できます。

指定以外の充電電池や充電アダプターは、絶対に使わないで下さい

i Setマイク(耳掛式マイク)に関して



マイクの差し込み方にご注意ください。フレームにマイクを差し込んだ際に、マイクの「i set mic」と書かれた部分が表に出るよう、スライドするようにセットしてください。文字部分が内側に入ってしまうと、マイクが抜けなくなる場合があります。



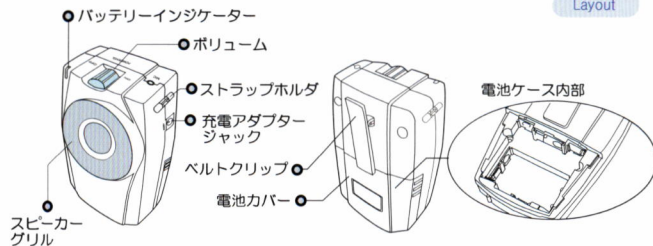
※ 万が一、マイクが抜けなくなったら、無理に手で引っ張ろうとせず、マイク基部に柔らかい布などを巻いた上からベンチなどで少しずつ回すようにして抜いてください。

二つの使用方式



フレームとマイクは分離できます。ひとつのマイクで二つの使用方式に対応する事ができます。

製品構成



BASIC (手ぶら拡声器4L)



OPTION



咽喉マイク



ウエストベルト

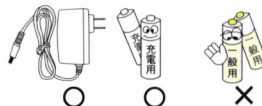


卓上スタンド

注意事項

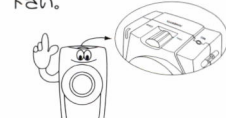
1

充電する場合は、専用の充電電池を使って下さい。一般乾電池での充電は絶対にしないで下さい。



2

本体ボリュームがOFFになっていることを確認した後、充電して下さい。



ONにしたまま充電すると、ノイズが入ります。

3

使用時間が短くなってきたと感じた場合、十分に放電した後、充電してみてください。



4

ボリュームを上げた状態でスピーカーとマイクを近づけないで下さい。ハウリングが起これば機器故障の原因になることがあります。



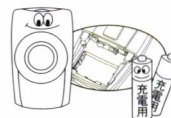
5

スピーカーの前がふさがれている状態で音を出さないで下さい。機器故障の原因となることがあります。



6

長期間使用しないときには液漏れの恐れがあるため、電池を抜いて下さい。



特徴

手ぶら拡声器とは

マイク・アンプ・スピーカーの全てを身体へ装着します。ハンズフリーで動く範囲が限定されません。(ワイヤレスマイクですと、電波の届く範囲が限定されますが、手ぶら拡声器は限定されません)

混信・干渉がありません

無線方式(ワイヤレスマイク)では有りませんので、電波の混信や干渉がおきません。つまり同一エリアで複数台使えます。イベント会場などで何台使っても問題ありません。

小型軽量・便利な携帯性

女性や子供が装着しても無理のない手のひらサイズでありながら十分な音量を確保。手ぶら拡声器シリーズのスタンダードタイプとしてお勧めの機種です。

用途はさまざま

デパート、スーパー、教員、母母さん、セミナー、会議、展示会、ツアーガイド、インストラクター、学校行事、卸売市場、工場案内、各種宣伝活動などで活躍します。

発声補助具としても

声の小さい方、声帯摘出者、喉頭摘出者、喉頭がん患者、高齢者などの発声訓練やリハビリテーション、在宅看護などでもご利用頂けます(※あくまでも拡声器ですので、有る程度の声が出ないと音を拾うことが出来ません)。

音質の秘密



回路基板

原音を忠実に再生する為の高集積3 H 回路の開発及び採用。3 H とはハミング、EQ、電源節電の3つをコントロールする回路です。



スピーカー

人間の音声周波数の再生に適し、尚且つ周りの騒音を極端に抑える EHE スピーカーの開発及び採用。EHE とは Easy for Human Ear の略で、中音域域に適合するように独自に造ったスピーカーの名称です。



マイク

人の声を含む自然の音を上手に拾いながら、雑音を抑える NR マイクの採用。NR とは Noise Reduction の略でマイク業者と共同開発したマイクの名称です。

製品規格

Power Output	7W (at 4 Ω Speaker load)
Distortion	5% Max (at 7W output)
AF Response	$\pm$ 2dB (at 100Hz~10KHz)
Power Source	Rechargeable, DC7.2V (AA Size 6EA)
Current Consumption	0.9A Max

安全上のご注意



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの

異常を感じたら直ちに使用をやめる

煙や臭いがする、水や異物が入ったとき、破損したときなど、火災の原因となることがあります。直ちに電池を外して下さい。修理や点検は販売店へ依頼して下さい。

分解や改造をしない

この機器を分解したり改造したりしないで下さい。火災の原因となることがあります。

充電するときは専用の充電電池と充電アダプターで

指定以外の充電電池や充電アダプターを使用すると、電池の液漏れ・破裂により火災、けがの原因となることがあります。指定以外の充電電池や充電アダプターは絶対に使わないで下さい。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの

電池の取扱いに注意する

- ・長期間使用しないときは液漏れの恐れがあるため、電池を抜いて下さい。
- ・電池の向き(＋と－)に注意して極性表示通り、正しく入れて下さい。
- ・ショート、分解、加熱をし、火の中に入れて下さい。
- ・専用の充電電池及び充電アダプター以外では絶対に充電しないで下さい。

熱器具などの近くに置かない

熱器具、暖房器具の近く、高温になる場所、直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所などに置かないで下さい。故障の原因となることがあります。

清掃にシンナーやベンジンは使わない

この機器を清掃する場合は水にぬらして固く絞った布を使用して下さい。汚れがひどい場合は中性洗剤をしみこませた布を固く絞って使用して下さい。シンナーやベンジンは変形・変色の原因となるので、使用しないで下さい。

水濡れに注意する

この機器は防水仕様では有りません。雨水がかかる場所での使用はしないで下さい。また多湿となる場所へも置かないで下さい。

磁力に注意する

スピーカーに強力な磁石を使用していますので、磁気カード、精密機器、医療機器など近付けないで下さい。データの消失や誤作動の原因になる恐れがあります。



強制



禁止



強制



注意



強制



強制



強制



注意